

先手必勝! 図面段階で品質・原価を作り込むプロセスを一新する 設計・開発段階における 「原価企画」の実践ノウハウ

～品質・原価の作り込みに必要なツールの使い分けと成果の出る実務への落とし込み～

日時 2020年8月25日(火) 10:00～17:00
(9:30 受付開始)

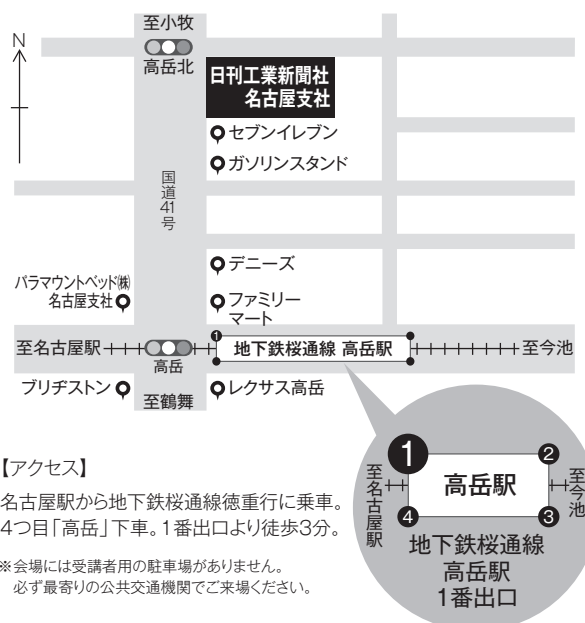
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市中区泉2-21-28

受講料 44,000円(資料含む、消費税込)
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」と記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。ご了承ください。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通)
FAX 052 (931) 6159

受講申込書

8/25 理想原価

お申し込みは [日刊工業 セミナー](https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search)

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は ☐
備考	☐ 日本金型工業会正会員 ☐ 中部プラスチック連合会正会員		

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp
郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.207561

開催主旨

従来の設計・開発方式は、設計、試作、確認実験をし、その結果を設計改善に結びつける、「後手後手にまわった」**確認修正型**ですが、この方法で、他社に打ち勝つ強い製品が作れるのでしょうか。

図面が出図された段階で製品の原価の80%、品質は90%が決定します。製品の適性品質を確保し、顧客に製品価値を感じさせるためには、設計・開発段階で品質問題などを予測し対応することで製品価値を向上させる**先手先手で製品価値を向上させるフロントローディング型**のものの作りが必要です。

本セミナーでは、**フロントローディング型**の開発・設計に必要な品質と原価の作り込みプロセスについて、事例を交え解説します。その内容は、その内容は、技術者にも必携の

- ・原価企画活動の進め方、事前の原価計算、定量的なコストダウンの可能性分析
- ・適性品質と原価の作り込みプロセス、標準化とデジタル技術を活用した試作レスの開発・設計事例 など

セミナー参加者には、参考文献として小川正樹著「見える化でわかる開発段階の原価管理」（日刊工業新聞社刊）を呈呈します。

※電卓を必ず持参してください！

講師

株式会社 MEマネジメントサービス 代表取締役 技術士（経営工学） **小川 正樹 氏**

【略歴】 (株)日本能率協会コンサルティングを経て、現在(株)MEマネジメントサービス代表取締役、マネジメントコンサルタント、技術士（経営工学）。原価計算・原価管理・原価見積・原価企画などに関するシステムの立案、構築、実施やVE・IEや品質工学改善を通じて新製品開発や総合的なコストダウンを展開し、企業の業績を改革するコンサルティング業務、公開セミナー、社内教育が活動の中心である。おもな著書に「技術者のための見積原価計算」（共著）「技術者のための原価企画」（共著）「絵でみる原価計算のしくみ」「高品質・低コスト生産のすべて」（日本能率協会マネジメントセンター）、「実践原価企画」（税務経理協会）、「絵でわかる超入門原価計算」（すばる舎）、「レイアウト改善」（日刊工業新聞社）などがある。
<http://www.mejapan.com/>

プログラム

1. 原価企画に必要な事前原価計算と原価情報

- ・IoT時代のものづくりに必要な原価情報とは
- ・材料単価と材料消費量データの準備とメンテナンス
- ・加工費レートと加工時間データの準備とメンテナンス
- ・事前に製品原価を設定する
- ー演習：事前の原価計算にトライしよう！

2. フロントローディングに対応する原価企画活動の進め方

- ・顧客が価値を感じる製品を設計・開発するプロセス
- ・原価企画活動は何をするのか
- ・目標売価から原価を作り込むしくみを構築する
- ・改善の方向性を明確にする原価のポートフォリオ分析とは
- ー演習：コストダウンの方向性を検討しよう！

3. 製品の機能を追究してコストを作り込む「VE」と「TRIZ」

- ・顧客の要求を図面に作り込む
- ・製品の機能をAHP(Analytic Hierarchy Process)で評価する
- ・VE(Value Engineering)を活用し機能原価・見積原価・理想原価に見える化する
- ・世界中の特許をデータベース化したTRIZとは
- ・VEと一体化しTRIZの効果を発揮する
- ー演習：機能評価を実践しよう！

4. 製品のコストと品質をバランスさせる「パラメータ設計」と「許容差設計」

- ・製品の品質・コストを基本機能で考える
- ・JISで制定されたアイデアを機能性で評価する
- パラメータ設計とは
- ・パラメータ設計の進め方と勘所は何か
- ・コストを考慮して許容差を設計する
- ー演習：コストを考慮して許容差を設定しよう！

5. 試作レスで開発リードタイムを短縮する「標準化・モジュール化」と「デジタル化」

- ・標準化技術と標準化の進め方
- ・標準化するとなぜコストダウンか
- ・顧客の要求で変わる部分と変わらない部分を明確にする
- ・デジタルエンジニアリングを活用した試作レスの開発・設計事例

6. 質疑応答

本セミナーの3大ポイント

- ①フロントローディングに対応した製品の品質・原価のつくりこみプロセスが標準化できます！
- ②製品の品質・原価管理に必要なVE、TRIZ、パラメータ設計、デジタル技術の活かし方が明確になります！
- ③コストダウンの可能性分析と実現方法を体得できます！